

# 町田通勤察だより

NO 101  
2024年9月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤察

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

## 巻頭言

察長 月岡 亮

四季のある日本は、その名の通り4つの季節があり、「春」「夏」「秋」「冬」という異なった季節が1年の中で移りかわっていきます。四季は春夏秋冬それぞれに違った特徴があり、その時期ならではの魅力や美しさがありますが、今年の夏は猛烈な暑さでした。「夏は暑い」当たり前のことですが、全国的に猛暑が続く、歴代と比較しても圧倒的な高温で異常気象だといえます。

また近年、異常気象による自然災害が増え、これまで各地で甚大な被害をもたらしております。もともと異常気象とは数十年に一度起こる程度の現象を指すものと聞いておりますが、今や当たり前になりつつあります。自然災害から身を守るための備えも非常に重要ですね。

毎年、障害関係6団体（東社協、東京都発達障害支援協会、自閉症協会、ダウン症協会、東京都育成会、保護者連絡協議会）にて「東京大集会」を開催しております。この大会は真の共生社会の実現を目指し、障害当事者など多様な立場の方々からの問題提起を受け、施策提言をしていく場として実施しております。

18回目となる今年のテーマは、「暮らしの場を選ぶこと」です。ここで誰と暮らすか、その選択は人の数だけあり、障害がある事を理由に選択肢が限定されてはならないと、国連障害者権利委員会からの勧告で我が国に示されました。

今回は国連勧告を踏まえ、本当に障害当事者が望む生活の場を「選べる」社会を目指し、障害当事者・家族・支援者・事業者がそれぞれの立場で、一緒に考え、一歩を踏み出せるような集会になればと考えます。

通勤察の利用開始から2年後には、次へのステップとして新たな場所での生活が待っております。多様な選択肢の中から利用者の求めるニーズに応えられるだけの生活環境を、積極的に考えていきたいです。



## 納涼会

支援員 佐々木 宏典

今年もびっくりするような酷暑の中、『納涼会』の時期がやってまいりました。例年通り、ボーリング大会と食事をを行いました。いつもは夕方からボーリングを始め、夜に食事会を行っていましたが、今年は朝の10時からボーリングを行い、お昼に食事会を行ってみました。初めての試みでしたが、ボーリングは受け付け待ちをすることなくスムーズに始められ、昼食後は各自自由なので、利用者の方も各々外出されたりしていました。一番のメリットは、夜に行うと入浴がかなり混雑してしまう事でしたが、今年はお昼の開催だったので、入浴をいつも通り順番にゆっくり入ることができたことは良かったと思っております。デメリットを挙げるとすれば、昼間外に出るのがものすごく暑かったことでした。本当に暑かったです・・・。

納涼会は年度が替わってから、初めての行事であり、最初は嫌々参加していた方が、終わってみると他の利用者さんと仲良くなったりと、これを機に職員へ相談する機会が増える事があります。こちらとしても、普段見られない利用者さんの一面を見ることが出来ます。こういう場では、一緒に盛り上げてくれる人や食事の際に気を遣ってお皿をまよめたり、必要なものを渡してあげられる人がいたり、ということがあるので、支援をしていくうえでこういったイベントの重要性を感じております。



## 性講座

支援員 石田 順子

### 【女性編】

7月6日(土) NPO 法人ピルコン様を講師に迎えて、女性利用者対象の性講座を開催しました。事前に取り上げて欲しい、興味がある内容などのアンケートをとり、NPO 法人ピルコン様と情報を共有して資料を作成して頂きました。受講した利用者それぞれ知識量に差があり、これまで同様の講座を何度か受けたので、だいたい知っていますという方や興味の範囲外と思われる方もおり、それぞれの聞く姿勢に違いがありました。座学だけではなく、実践形式(コンドームの付け方、感染症ゲム、ピル・生理グッズの提示など)も交えての講座となり、濃い時間になったと感じましたが、拒否的な反応を示す方もいました。その後の個別面談では、話を聞いてもらえて良かったなど肯定的な意見が多くありました。困りごとを発信してもらえたことで通院につながられたケースもありました。

専門の外部講師をお呼びする事で、職員が行うのと違った雰囲気や内容を提供することが出来るため、また是非お願いできればと思いました。

### 【男性編】

7月14日(日)に男性利用者を対象に「性感感染症」を軸とした性講座を開催しました。女性利用者向けに講演頂いたNPO 法人ピルコン様より寄贈いただいた Condom 性を体験の有無に関わらず、性感感染症予防と望まない妊娠を回避するために必要な物との位置付けて、各利用者に配布した同じく寄贈頂いた『シンプル性教育 いっしょに話そう！』から

### Ⅲ 性講座 調理実習



す・はたらくに活かす「性」のこと」という書籍についても、希望する方は事務所まで貸し出す旨をアナウンスしました。性行為とは何か、どういった時に性行為に至るかなど、自分で考えてもらう時間を出来るだけ多く設定しました。現在の男性利用者全員が学校卒業のタイミングで入寮しており、後輩との交際の可能性が十分に考えられる事から「青少年保護条例」についても警察案件、社会的信用の失墜から最悪のケースとして職場に居られなくなるリスクもあることを時間を掛けて説明しました。

講座後のアンケートには、「今後の恋愛が上手くいくように気をつけて頑張りたいと思った」や「生理とは何か」「アフターピルってのがあると聞いたんですけど」と全体では質問することが出来なかった利用者が個別で話をしに来たり、去年は講師が女性だったので聞きにくかったと話してきた利用者もいました。

全体として、男女どちらからも同性職員または同性講師からの説明や講義後の質問が話し易かったとの意見がありました。

今後、多種多様な方と出会う中で、「その人らしさ」を傷つけたり、傷つけられたりすることのないように、この講座を思い出してもらえたら幸いです。

### 調理実習

8月24日(土)食堂で『万能調味料!めんつゆでどんぶり定食を作るうめんつゆがあればなんでもできる』と題して、調理実習を行いました。

支援員 河口憲明

メニューは、親子丼、根菜煮、吸物、桃缶アイス。参加利用者は、調理員の説明を熱心に聞き、野菜を切ったり、めんつゆを計量したり、レシピを見ながら時には楽しく、真剣に調理をしていました。

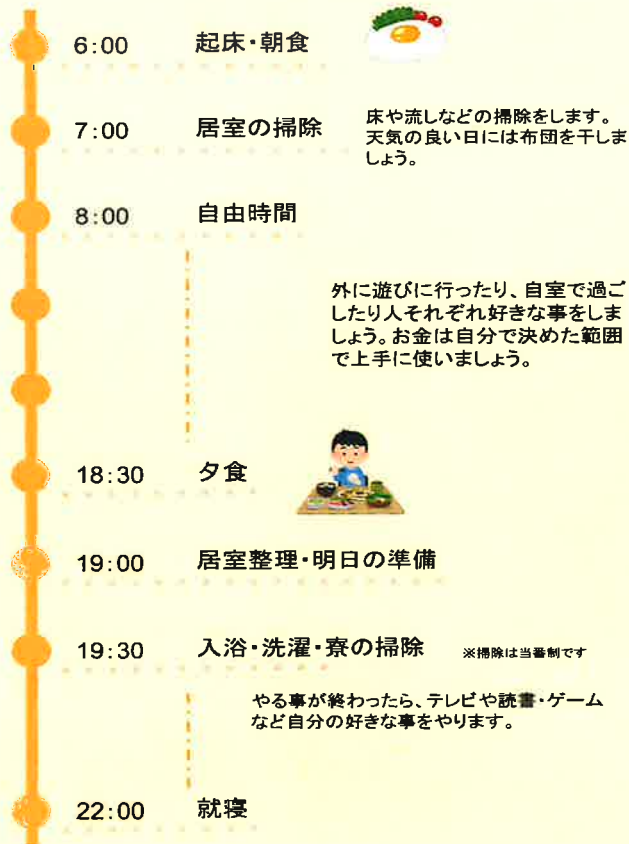
調理後、利用者は、出来上がった料理4品を美味しく召し上がっていました。手料理の味は、格別だったと思います。

通勤寮では、将来の一人暮らしを想定した自立訓練室があります。その部屋で生活する利用者は、自炊を行います。調理実習は、2ヶ月に1回開催しております。調理だけではなく、包丁の使い方や軽量の仕方、料理の裏技も習得できます。参加利用者には、夏の思い出になったことと思います。



## VI 通勤寮の1日の流れ 今後の主な予定

ある利用者さんの1日の流れ(お休みの日)



ある利用者さんの1日の流れ(仕事の日)



### 今後の主な予定

- 9月28日(土) グループホーム見学会
  - 10月6日(日) 17日(月) 宿泊訓練(2年目利用者)
  - 10月25日(金) アパート見学会
  - 12月忘年会
- 次回の保護者会は、2025年1月を予定しております。

町田通勤寮の施設、支援について動画を作成しました。つるかわ学園公式 HP 内、お知らせ『法人 PR 動画リニューアルのお知らせ』からご覧になれます。支援の一端がご理解いただける内容となっております。

HP: [tsurukawa-gakuen.com](http://tsurukawa-gakuen.com)

### 編集後記

ニューロダイバーシティという発想が定着してきました。文字通り、脳や神経、それ由来する個人レベルでの様々な特性の違いを多様性として捉えて相互に尊重し、それらの違いを社会の中で活かしていこう。という考え方です。

町田通勤寮利用者は、将来の自立に向け、就労に勤しむ日々を送っております。社会が多様性へ理解を示すことで、障害者の就労定着が図られると信じます。町田通勤寮では、就労安定の支援も行っております。町田通勤寮利用者の1日の流れを上記に掲載しております。関心がございましたら、お気軽にお問い合わせください。(河口)